

将来にわたり、笑顔と希望があふれる

「しばた」を目指し、全力で取り組みます

新年を迎え、皆様には健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響が続く中ではありましたが、3年振りとなる「城下町 新発田まつり」を開催いたしました。「こういうときだからこそやりたい」という皆様の力強い声に胸を熱くし、また、まつりに参加された皆様の笑顔が、まさに元気を与えてくれました。

一方で、8月の集中豪雨によつて下越地方には大きな爪痕が残りました。今もって日常の生活を取り戻せていない皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も

早い復旧を願っております。

今年の干支である「卯」は、その穏やかな様子から、家内安全、また、跳躍する姿から飛躍を表すとされております。本年が災害も無く安全に過ごせるよう、また、皆様それぞれが目指す先に向かつて大きく飛躍する年となることをお祈り申し上げます。

さて、市政を担わせたいただきましたこれまでの12年間、一貫して「住みよいまち 日本一 健康田園文化都市・しばた」の実現を目指し、「健康長寿」「少子化対策」「産業振興」「教育の充実」の4つの視点によるまちづくりを

進めてまいりました。

市政4期目の最初の年である本年も、これまで育てた数多くの取組が、大輪の花を咲かせるよう育て続けるとともに、ゼロカーボンシティやDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進をより一層加速させ、将来に向けた持続可能なまちを目指してまいります。

また、4月には待望の蔵春閣がオープンいたします。蔵春閣を築いた大倉喜八郎翁は、未来ある若者たちに、「困難に出会ってもひるまずに、なお一層前に進む」という「進一層」の気概を持つことを求めたそうです。私も今

年のキーワードを「拓」と定めました。新発田の未来を切り拓くべく、どのような困難にも屈することなく、笑顔と希望があふれる「しばた」を皆様といっしょに創っていく所存です。

結びに、皆様のご理解とご協力をお願いし、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



新年の

ごあいさつ

市民の皆様が安心・安全に暮らせるよう

力を尽くします

新発田市議会議員
若月 学



新発田市長
二階堂 馨



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和5年の新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年を振り返ると、全国的に自然災害に見舞われた年でした。その中でも、8月の県北地域を中心に甚大な被害をもたらした大雨が記憶に新しいところであります。

河川が溢水し、市内の至る所で道路が冠水するなど、これまで見たこともないような光景を目の当たりにし、自然災害の恐ろしさを痛烈に感じました。

また、ロシアのウクライナ侵攻や繰り返される北朝鮮によるミサイル発射など、国内外の難局が同時に、かつ複合的に押し寄せています。

こうした近年の社会情勢を背景に、市民の皆様の防災意識がより高まっています。市では昨年、防災機能を有したコミュニティセンターが開所したほか、いつ起こるか分からない災害に備え、市民、地域主体の防災活動を推進し、更なる自主防災活動の充実・強化を支援しています。市議会としても、常

に皆様の声に耳を傾け、その声を確実に市政に届けることにより、議会と執行機関とが丸となつて、市民の皆様の生命・財産を守るため、力を尽くしてまいりました。

また、市民の皆様の声を直接お聞きする場として、市内各地で議会報告会を開催しております。そのほか、直接会場へお越しただけでない方のために、昨年は議会報告会のライブ配信を2回行いました。誰でも参加することができ、チャット機能を使って質問を受け、それに対して議員がリアル

タイムに回答することができました。

今後も、より多くの皆様の率直な意見をお聞きし、より良き生活につなげられるよう、また、市民の皆様

に議会を身近に感じていただくよう精一杯取り組んで参る所存であります。どうぞ市民の皆様におかれましては、本年も市議会活動にご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりましてより良き年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。